

# 旭川北稜球団のご紹介



旭川北稜リトルシニア



【「リトルシニア」のご紹介】※平成26年4月現在

北海道連盟35チーム、東北連盟56チーム、関東連盟213チーム、信越連盟45チーム、東海連盟45チーム、関西連盟132チーム、九州連盟36チームを擁する中学硬式野球協会です。

北海道連盟は35チームで構成され、登録選手数は約1200人。次のステージにつながるよう練習に励んでいます

リトルリーグに対し「先輩のリーグ」の事で、野球を愛する中学生に対し、野球を正しく指導し、その体力向上とスポーツ精神を養い、チームワークを通じて団体生活の強調を知り、判断力を高め、青少年同志の交歓の場を与え、友情を向上させるために組織された国際的なスポーツ団体であります。

(※北海道連盟ホームページより抜粋)

試合は7回戦、2時間制。

これを超えて勝敗がつかない場合は「タイブレーク方式」となります。

バット以外は高校野球と同じです（ボール、塁間などは高校野球と同様です）。

2015年度からは「中学生投手の投球制限に関するガイドライン」が導入され成長期の子供に配慮された取り組みが行われています。

また、2016年度からは、怪我を未然に防ごうとの取り組みにより、「野球肘検査」が導入されています。

## 【球団の構成】

特定非営利法人 旭川北稜球団

(一般財団法人日本リトルシニア中学硬式野球協会 北海道連盟所属)

## 【球団役員】

<理事長> 石川 吉博

<副理事長> 川口 信一、鈴木文男

<理事> 高橋 誠、高橋 一彦、大内 義和、棚田 忠昭、石川 由美

<監事> 木下 亨

<事務局長> 増田 明宏

## 【活動内容】

当球団は特定非営利活動（NPO法人）として活動し、硬式野球を通じて少年に健康な体と、協調の精神を育成し、規律正しい明朗な社会人となるよう育成するとともに、少年の国際親善、友愛精神を深め、あわせて硬式野球の普及及び啓発に努めることを目的とし活動しています。

※「NPO」とは、ボランティア活動など社会貢献活動を行う営利を目的としない団体の総称です。

※「NPO法人」とは、特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した「特定非営利活動法人」の一般的な総称です。

【沿革】

- ・昭和55年 旭川中央リーグとして発足
- ・平成8年10月 旭川中央リーグ 解散
- ・平成8年11月 旭川北稜球団 設立
- ・平成10年11月 リトルリーグ部門連盟 脱会
- ・平成16年9月 特定非営利活動法人（NPO）設立

【主な実績】

<通算成績>

- ・春季全道大会 準優勝3回
- ・日本選手権北海道大会 優勝5回 準優勝2回
- ・道新スポーツ杯争奪全道大会 準優勝2回
- ・全道選手権大会 優勝6回 準優勝2回
- ・秋季全道大会 優勝3回 準優勝1回

<出場大会>

- ・平成2年 日本選手権全国大会 ベスト8
- ・平成8年 日本選手権全国大会 ベスト8
- ・平成8年 全国選抜大会 準優勝
- ・平成19年 第13回全国選抜大会 出場
- ・平成19年 東海連盟創立20周年記念全国選抜大会 出場
- ・平成19年 第35回日本選手権大会 出場
- ・平成22年 第1回林和男旗杯国際野球大会兼ダイヤモンドカップ出場
- ・平成25年 東日本大会出場 ※山形県
- ・平成26年 第42回日本選手権全国大会 出場
- ・平成27年 東日本大会出場 ※新潟県



【指導スタッフの紹介】 ※7名体制で活動中

<監督>

「富田 健二」・・・旭川龍谷高等学校 出身（投手・外野手）



第59回選抜高等学校野球大会出場  
大昭和製紙北海道硬式野球部  
※資格・・・日本体育協会公認指導員（野球）

<コーチ>

「本間 哲郎」・・・旭川東高等学校 出身（投手）



1987年、横浜大洋ホエールズ  
（現 横浜 DeNA ベイスターズ）入団  
日本プロ野球OBクラブ会員  
※資格・・・学生野球資格回復認定

「川田 健」・・・稚内大谷高校 出身（投手）



山陽国策パルプ（現 日本製紙）硬式野球部

「森松 桂一」・・・旭川北高等学校 出身（内野手）



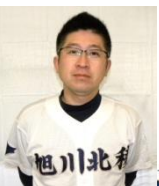
H23～H25 永山南クラブ（少年軟式）監督

「朝西 史徳」・・・神奈川県立川崎北高校（主将）、旭川大学（内野手）出身



※資格・・・日本体育協会公認指導員（野球）

「朝妻 弘幸」・・・旭川大学高等学校出身（内野手）



H22～H27まで神居東ベアーズ（少年軟式）コーチ

「木下 亨」・・・旭川龍谷高等学校出身

旭川中央リトル、シニア（当球団前身）にて指導歴あり



【1年間の大会】※平成26年の様子

4月下旬～6月上旬・・・春季全道大会（道内）

※予選リーグ（5チーム7ブロック）後、決勝トーナメント

6月中旬～6月下旬・・・日本選手権北海道大会（道内）

※リトルシニア最大の大会。優勝、準優勝は「神宮へ」

※順位決定戦あり。様々な道外大会へ

※ベスト4はジャイアンツカップ北海道予選に出場

7月上旬・・・北ガス杯（道内）

※札幌ドームでの試合の出場権をかけた大会

7月中旬・・・理事長杯（道内）

※2年生以下の大会

8月中旬・・・全道選手権大会（道内）

※3年生最後の大会

8月下旬・・・秋季全道大会（道内）

※新チームによる新人戦

【道外大会】※7月下旬から8月中旬にかけ実施

- ・全国選抜野球大会（大阪府）  
※前年の秋季大会（新人戦）上位3チームが出場
- ・林和男杯旗国際大会（各連盟持ち回り）  
※順位決定戦上位チーム出場
- ・東アジア大会  
※順位決定戦上位チーム出場  
※外国チームの参加あり
- ・日本選手権大会（東京都）  
※リトルシニア最大の全国大会
- ・ジャイアンツカップ（東京都）  
※中学硬式野球日本一決定戦
- ・東日本大会（北海道、東北、関東連盟持ち回り）  
※順位決定戦上位チーム出場。関東以北の大会

【秋季から冬季のスケジュール】※あくまでも予定です

9月～11月

「体験練習会」

※見学・体験は随時対応しています。

※入団時期に関する制限は「一切」ありません。

※練習場所は11月中旬以降、「室内練習場」での練習が中心となります。

12月

「入団説明会」

「入団式」兼「懇親会」

「練習納め」

1月

「鏡開き」

「冬季合宿（大雪青年の家）」にて2泊3日程度の合宿を行っています。

2月～3月

「市外室内練習場」（月2～3回、秩父別・比布など）※主に球団バスでの移動です

「社会奉仕活動」（高齢者世帯の除雪など）

4月

「春の合宿」（2泊3日程度）※平成26年は室蘭市にて行いました。

「北稜球団 通常総会」

「春季リーグ」から公式戦スタート

## 【北稜会（父母会）との協同】

- ・グラウンド、室内練習場の維持管理のご協力
- ・公式戦、練習試合お手伝い  
※公式戦は年間数試合、試合当番の割り当てがあります。  
※審判員としてご協力をお願いする場合があります。
- ・春季、冬季の物品移動のご協力  
※球場⇄室内練習場間
- ・バス運転のご協力
- ・節目行事の企画・運営へのご協力 など

チームが気持ちよく活動できるよう、その都度相談しながら御協力を頂いております。

